

■教材について

「魔王」では、詩の内容に沿って旋律の雰囲気や伴奏の形などが様々に変化していくことを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することに有効である。また曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、歌曲のよさや美しさを味わって聴くことにも有効である。

■指導事項 「内容のまとめり」

B鑑賞 (1) 鑑賞 ア (ア)、イ (ア)

〔共通事項〕 (1) ア (本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「音色」)

【参照】 中学校学習指導要領解説音楽編 P140～141

■題材の目標(例)

第1学年及び第2学年

(1) 知識

イ(ア)

曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

音楽を形づくっている要素：「旋律」「反復」

旋律、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

ア(ア)

(3) 学びに向かう力、人間性等

旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

取り扱う教材の特徴や興味・関心をもたせたい事柄

■題材の評価規準(例)

第1学年

取り扱う教材の特徴や興味・関心をもたせたい事柄

	「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
知	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>旋律、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

イ (ア)

音楽を形づくっている要素：
「旋律」「反復」

ア(ア)

■指導と評価の計画(例) 2時間 (第1学年)

時間	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点			◆評価規準
		知・技	思	態	
第1時	<p>◎旋律の雰囲気と歌い方の違いに関心をもち、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>○演奏を聴き、旋律、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。</p> <p>・ ICT活用①</p> <p>○曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>・ ICT活用②</p>	知	思	態	<p>※態は第2時まで継続的に評価する。</p> <p>◆曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。知</p> <p>行動観察 発言内容 ワークシート</p>
第2時	<p>◎旋律、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○前時の学習で理解したことを伝え合い、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、味わって聴く。</p> <p>・</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">先生が生徒の実態に合わせて、 学習活動を考えましょう</p>		思	態	<p>◆旋律、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。思</p> <p>行動観察 発言内容 ワークシート</p> <p>◆旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。態</p> <p>行動観察 ワークシート</p>